

国際シンポジウム

日仏交流の過去と現在

—国立国会図書館・フランス国立図書館の所蔵資料から

Passé et Présent des Relations franco-japonaises
dans les Collections de la Bibliothèque nationale de la Diète
et de la Bibliothèque nationale de France



開催趣旨

国立国会図書館は、フランス国立図書館との協力協定に基づき、日仏両国の交流史をテーマとした電子展示会「近代日本とフランス—憧れ、出会い、交流」を平成26年12月に公開します。これを記念して、フランス国立図書館からヴェロニク・ベランジェ氏をお招きし、国際シンポジウムを開催します。ベランジェ氏は、『酒飯論絵巻』の研究等で知られる日本資料の専門家であり、上記協定に基づいてフランス国立図書館が公開を予定する日仏交流をテーマとした電子展示会の解説の執筆者でもあります。ベランジェ氏による報告のほか、クリストフ・マルケ氏（フランス国立東洋言語文化研究学院教授）、西堀昭氏（横浜国立大学名誉教授）らをパネリストに迎え、三浦信孝氏（中央大学教授）の進行によるパネルディスカッションを行います。大正13（1924）年の日仏会館創立にはじまる日仏文化協力90周年の締めくくりにあたり、両国立図書館の所蔵資料から交流の歴史を回顧します。

プログラム

【報告1】日本におけるフランスのイメージの形成 —電子展示会「近代日本とフランス—憧れ、出会い、交流」の紹介

○渡邊幸秀（国立国会図書館利用者サービス部司書監）

【報告2】フランスにおける日本文化受容の一側面 —フランス国立図書館の電子展示会プロジェクト

○ヴェロニク・ベランジェ氏（フランス国立図書館日本資料担当司書）

【ショートスピーチ】日本の近代化とフランスの影響

○三浦信孝氏（中央大学教授）

【パネルディスカッション】

日仏交流の諸相—近代的制度、産業技術と芸術文化を中心に

○コーディネータ：三浦信孝氏

○パネリスト：

ヴェロニク・ベランジェ氏

クリストフ・マルケ氏（フランス国立東洋言語文化研究学院教授）

西堀昭氏（横浜国立大学名誉教授）

渡邊幸秀

*同時通訳付（仏⇄日）

*裏面に講師略歴を掲載

日時

平成26年

12月11日（木）
15時から18時まで

会場

国立国会図書館
東京本館新館講堂
（*裏面にアクセス情報あり）

入場無料・要予約

申込方法

国立国会図書館ホームページの申込みフォームから受付
（* URL：<http://www.ndl.go.jp/jp/event/20141211lecture.html>）

お問合せ

国立国会図書館利用者サービス部
サービス企画課 展示企画係
電話：03（3506）5260
FAX：03（3580）3559
メールアドレス：
tenji-kikaku@ndl.go.jp

〔主催〕

国立国会図書館

〔後援〕

在日フランス大使館

〔協力〕

公益財団法人日仏会館
日仏会館フランス事務所



Ms. Véronique BÉRANGER



Prof. MIURA Nobutaka



Prof. Christophe MARQUET



Emer. Prof. NISHIBORI Akira

◎ 講師略歴



ヴェロニク・ベランジェ氏 / Ms. Véronique BÉRANGER

フランス国立図書館蔵書部写本課日本資料担当司書。国立古文書学校において日本書誌学を研究。平成12年に3か月間国立国会図書館において研修。今回の共同電子展示会におけるフランス側制作担当者の一員（学術面の責任者）でもある。2001年からフランス国立図書館司書として、敦煌写本電子化プロジェクトや『酒飯論絵巻』研究プロジェクトを担当。共著に『『酒飯論絵巻』の世界：日仏共同研究』など。

Conservator of Japanese collections, Service of Oriental collections, Department of Manuscripts, Division of Collections, Bibliothèque nationale de France (BnF). She is the scientific coordinator of the Franco-Japanese digital portal project (2013-2014). She engaged in research of the Japanese bibliography in École nationale des chartes. She had also a training experience for three months in the National Diet Library in 2000. Working at the BnF since 2001, she coordinated the digitization project of the Dunhuang collection, and was part of a research project about the *Shuhanron emaki*.

三浦信孝氏 / Prof. MIURA Nobutaka

中央大学教授。フランス文学・思想。著書に『現代フランスを読む：共和国・多文化主義・クレオール』、編著に『近代日本と仏蘭西：10人のフランス体験』、『フランスの誘惑・日本の誘惑』、『自由論の討議空間：フランス・リベラリズムの系譜』など。

Professor of Chuo University, major in French literature and French thoughts

クリストフ・マルケ氏 / Prof. Christophe MARQUET

フランス国立東洋言語文化研究学院 (INALCO) 教授。日本美術史・出版文化史。編著に『日本の文字文化を探る：日仏の視点から』、『絵を読む、文字を見る』等。光琳、北斎、歌麿、蕙斎など江戸時代の画譜の復刻と翻訳をフランスで多数出版。

Professor of Institut national des langues et civilisations orientales (INALCO), France, major in history of Japanese art and history of books and publication in Japan

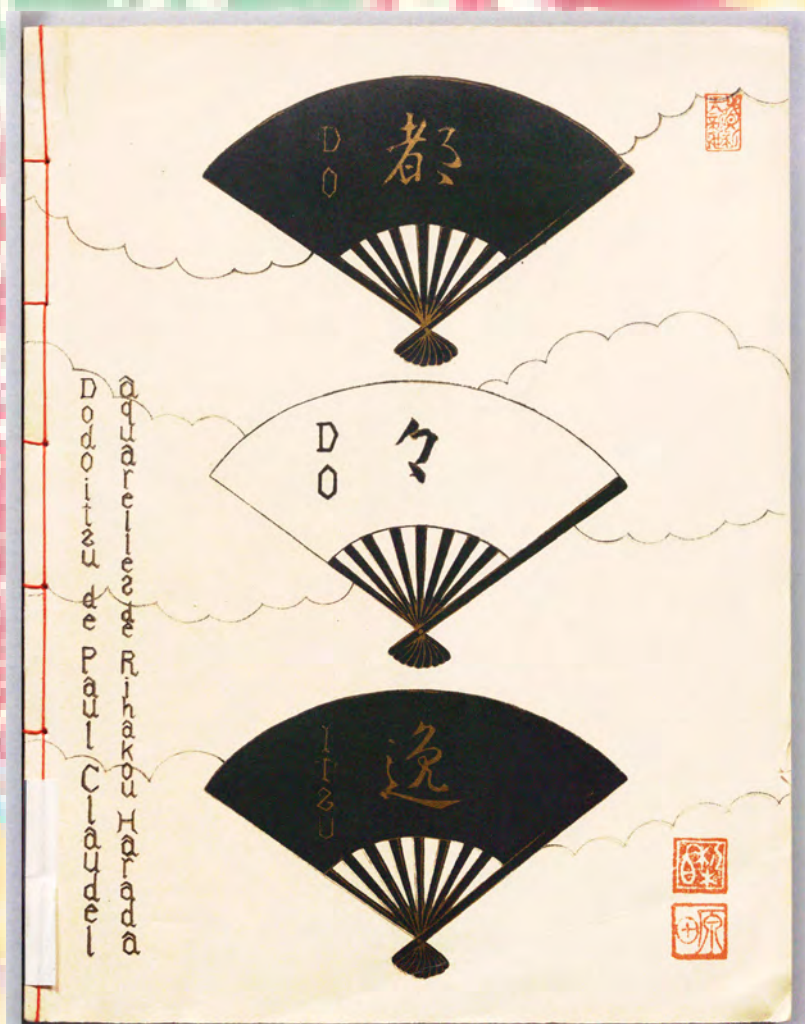
西堀昭氏 / Emer. Prof. NISHIBORI Akira

横浜国立大学名誉教授。日仏交流史。著書に『日本の近代化とグランド・ゼコール』、『日仏文化交流史の研究：日本の近代化とフランス』、共著に『横須賀製鉄所の人びと：花ひらくフランス文化』、『日本とフランス：出会いと交流』など。

Emeritus Professor of Yokohama National University, major in history of Japanese-French relationship

電子展示会「近代日本とフランス—憧れ、出会い、交流」とは？

安政5（1858）年の日仏修好通商条約締結に始まる両国の交流を、政治、産業、文学、芸術、生活スタイル、サブカルチャー等の各分野にわたって紹介しています。紹介する主な資料は、インターネットで本文を閲覧することができます。（平成26年12月公開予定）



◆ 出展資料紹介 ◆ (左図)

(上) 一曜斎国輝[画]『上州富岡製糸場之図』
[明治5(1872)]

本年6月に世界文化遺産に登録された富岡製糸場を描いた錦絵。フランスの技術を導入し、明治5(1872)年に開業した。

(左下) ジュディット・ゴーチエ『Poèmes de la libellule』[1885]

西園寺公望がフランス語に抄訳した『古今和歌集』を女流作家ゴーチエが編訳。『蜻蛉集』の和名も知られる。挿絵は山本芳翠。

(右下) ポール・クロードル『Dodoitsu』[1945]

駐日大使も務めた詩人クロードルが、都々逸など日本の俗謡を編訳した作品集。挿絵は在仏の画家ハラダ・リハク。



○ URL :

<http://www.ndl.go.jp/france/>

アクセス情報

東京メトロ有楽町線 永田町駅 2番出口 (A) 徒歩約5分

東京メトロ半蔵門線・南北線 永田町駅 3番出口 (B) 徒歩約8分

東京メトロ千代田線 国会議事堂前駅 1番出口 (C) 徒歩約12分

都営バス 橋63系統「国会議事堂前」停留所 (D) 徒歩約5分

※利用者入口前に駐車場(29台分)がありますが、なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、そのうち2台分は身体障害者専用スペースとなっていますので、健常者の駐車はご遠慮ください。

